

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		決勝																	
日時	2019年12月26日 (木)	11:40 ~																	
会場	旭川市リアルター夢りんご体育館Aコート																		
結果	<p>愛宕 旭川</p> <p>38</p>	<table border="0"> <tr><td>{</td><td>8</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>{</td><td>9</td><td>—</td><td>6</td></tr> <tr><td>{</td><td>11</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>{</td><td>10</td><td>—</td><td>26</td></tr> </table>	{	8	—	16	{	9	—	6	{	11	—	14	{	10	—	26	<p>芽室 帯広</p> <p>62</p>
{	8	—	16																
{	9	—	6																
{	11	—	14																
{	10	—	26																

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【戦評】

旭川地区1位の旭川愛宕と帯広地区1位の芽室の対戦。

「1Q」愛宕④⑤⑥⑦⑮、芽室④⑤⑥⑦⑧でスタート。最初のチャンスで芽室⑧がミドルシュートを決めた。どちらもドライブから仕掛け、シュートチャンスを狙う。残り4分で芽室④の3Pが決まり、流れをつかむ。残り1分40秒で愛宕がタイムアウトをとり、流れを断ち切ろうとするも、ターンオーバーやミスで追い上げられず8-16で終了。

「2Q」メンバーが代わり、出てきた愛宕⑬が果敢に攻める。ドライブや3Pを決め、チームの勢いをつけようとする。対する芽室は④を中心にドライブ・ゴール下で応戦し、点差を詰めさせない。残り5分半で愛宕がタイムアウト。その後、芽室のドライブに対する愛宕のダブルチームがききはじめ、追い上げる展開。残り1分半で芽室がタイムアウトを取る。互いにDFを崩せない時間が続いたが、芽室④のフリースローで流れが変わり17-22で前半が終了。

「3Q」どちらも流れがつかめないままスタートした後半。1分半が経過したときに愛宕⑦がミドルシュートを決め、試合が動き始めた。芽室④のフリースローが決まったところから流れが変わり始め、愛宕にミスが続き、残り5分で愛宕がタイムアウト。オールコートのDFで応戦したり、愛宕⑮のドライブからのカウント1ショットもあったが、芽室④⑧のドライブも決まり、点差が詰められないまま28-36で3Qが終了。

「4Q」スタートは愛宕⑭の2Pシュート。その後、芽室④のドライブが決まり、そこから芽室ペースの試合展開が続く。愛宕⑬のドライブで応戦するも、依然として流れがつかめない愛宕。芽室④⑤を中心としたドライブが決まり、愛宕が離される展開になる。残り4分半で愛宕がタイムアウトを取るが、リバウンド速攻やターンオーバーからの得点で芽室が点数を重ねていき、そのまま芽室が38-58で決勝戦を制した。なかなか得点が決まらず苦しい展開もあった中、最後まで諦めずに戦いぬいた両チームの健闘を称えたい。

記録 旭川地区バスケットボール協会 U-15部会 山下 景子